

# 近江商人 ~日本の商業史を築いた商人たち~

江戸時代以降、滋賀から全国各地に出向き、近代商業史の礎を築いた「近江商人」。なぜそこまで栄えることができたのでしょうか？

彼らは自分たちの商売が未永く発展する為には、社会のよりよい一員であることが大切と考えていました。そのため、「正直」を旨とし、「三方よし」の精神で地域産業育成に貢献し、時には私財を投じて社会に貢献しました。

ところが現代社会では、自己の利益を優先するあまり、消費者の姿を見失ってしまう企業があとをたちません。企業の倫理観や社会的責任もますます問われています。

今こそ、近江商人たちの経営理念や、進取の気性に富んだ経営手法を見直す時ではないでしょうか。

そこで今回は、近江商人の様々なエピソードや資料からその実像にせまってみましょう。



『東海道名所図会』(秋里 1797年[寛政9年])  
「梅の木」「ぜさい」と看板が出ている店が現在栗東市に残る「旧和中散本舗」。  
本文2ページ参照。

I N D E X	・(特集) 近江商人 ~日本の商業史を築いた商人たち~ . . . . .	1 ~ 3 面
	・今月のBookまーく - ご存知ですか? 水資料コーナー . . . . .	3 面
	・郷土資料紹介 . . . . .	4 面

## 図書館の催し

**おはなし会**  
10月17日(水)・11月21日(水)  
午前11時と午後3時の2回  
1階談話室にて

**文化の日 文化ゾーン探検隊**  
11月3日(土・祝)文化の日)  
好評の地下書庫探検、絵図の公開もあります!  
(詳細は、ちらしやホームページでお知らせいたします。)

## 近江商人の経営手法

編み笠に合羽を着込んで天秤棒を担いだ近江商人像が県内各地に残るように、商売の基本は行商でした。行商で成功した土地に出店を開き、そこから全国に進出していきました。

その特徴は、卸売り商であること、往路は国内の特産品を持って出先で売り（持ち下り荷[もちくだりに]）帰路は出先の特産品を仕入れて販売（登せ荷[のぼせに]）する効率のよい商法にありました。また全国に出店が増えると、そこから直接必要な地方に商品を送りました。これを「諸国産物廻し」といいます。これにより、流通コストを軽減し、現代の商社活動の原型をつくりました。

市場の動向を的確につかむには、情報収集が不可欠ですが、八幡商人や日野商人には各宿場でそれぞれ専用利用できる「定宿」が決められていました。それ



『近江商人事績写真帖 下』（塚本源 三郎著 滋賀県経済協会 1930年）より 北川與平行商の肖像

らの宿は世襲経営で信頼できるうえに、同じ出身の商人同士様々な情報交換をすることができ、為替取引も可能で、大変便利なものでした。

## 時代を先取りした販売戦略

### 吉原でCMソング・薬の実演販売

現代では当たり前になっているCMソングを最初に考案したのは、伊吹山麓の柏原宿（現米原市）のもぐさ屋伊吹堂・亀屋左京の六代目松浦七兵衛でした。

彼は、伊吹もぐさを全国ブランドにするため江戸行商に出て、蓄えたお金で七日七晩吉原で豪遊しました。すっかり有

名になった彼は、吉原に来るすべてのお客に「江州柏原 伊吹山のふもと 亀屋左京のきりもぐさ」と歌い聞かせるよう芸者に頼みました。

当時の流行の源・吉原から流れたCMソングと屋号入りの派手な半被での行商が効を奏して七兵衛は千金を得ることができたのです。

その財で街道ぞいの店舗隣の住居に大名向けに無料休憩所をつくったため、大名たちもこぞつてもぐさを購入しました。皇女和宮の下向の折には、商品が底をついたと言われています。



『東海木曾両道中懐宝記』（須原 屋茂兵衛 1786年[天明6年]） 「柏原宿」

また、徳川家康の腹痛を瞬時に治したといわれる「和中散」を販売していた東海道沿いの「ぜざい・和中散本舗」（現栗東市）では、旅人へ無料の湯茶接待をし、店頭で製薬機械を実際に動かして実演販売をしていました。直径が4メートルもあるかと思われる機械が、きしみあって動く様は当時の旅人には珍しく、薬を多く買い求めたといえます。

これらのエピソードは「まずは人に喜んでもらい、その後にもうけさせていただく」という近江商人の精神と販売戦略を表しています。

### 地方産業を育てた近江商人

近江商人と他の商人の大きな違いの一つに、各地の特産物の生産工程・商品開発にまで関わっていたことがあげられます。たとえば、麻布〔まふ〕であれば、原料である大麻〔おおあさ〕を北陸から仕入れ、地元で加工して販売しました。八幡の蚊帳、日野の薬「万病感応丸」などは代表的な商品開発の例です。

一方、出先の土地で産業を興した例としては、関東での醸造業や東北での紅花、北海道で開発した日本初のカニ缶、サケ缶などがあげられます。東北・北海道・北陸・山陰など、当時の経済的後進地域へ進出し、生活物資と上方の文化を届け、その土地で産業を育成することで、行く先々で歓迎されました。

ちなみに現在のおせち料理の定番である棒鱈、数の子、新巻鮭などは東北に進出した八幡商人によってもたらされたものです。

### 近江商人の理念と社会貢献

近江商人の社会貢献の精神を表す言葉として、「陰徳善事」があります。日野の中井源佐衛門家に伝わる「金持商人一枚起請文」に、良き経営者が代々続くには人知れず社会を潤し神仏に祈るしかないとあります。

実際彼の息子は、瀬田唐橋の一手架替工事を手がけ、幕府に三千両の寄付を願い出ました。また、東海道の大津・京都間の難所に車石を敷くという現代でいう舗装工事も行いました。旧東海道の改修工事の年に発見されたこの車石は県立図書館横にも展示されています。

ほかにも近江商人たちは、常夜灯の設置や飢饉・不作時の年貢の肩代わり・お助け普請、日野の曳山の寄進など、地域の人びとへその利益を還元し、社会的責任を果たしたのです。



### 現代に続く近江商人

現代の大企業の中には、近江商人を起源とするものも少なくありません。

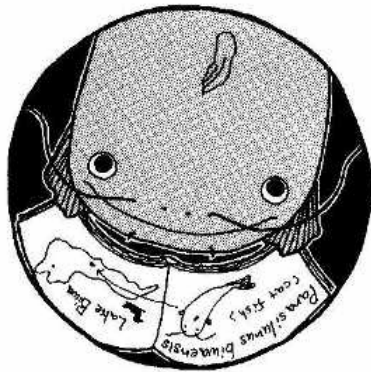
一番古くから続く店は八幡商人出身のふとんの西川です。蚊帳や畳表を関東に売り込み、1615年（元和元年）には江戸日本橋の一等地に店舗を構え、現代にいたります。当時の日本橋の一等地は八幡商人の店がその一角を独占していました。（当館ホームページのデジタルアーカイブでその様子をご覧になれます。）

商社や百貨店には近江商人起源の企業が多くあります。大丸百貨店は八幡商人、高島屋はその名のとおり高島商人が起源です。伊藤忠商事、丸紅の祖は豊郷町出身の伊藤忠兵衛です。他にもチョーギン、外与、ツカモト、日本生命などがあります。

時代をこえて繁栄する近江商人の末裔たち。その礎を築いた先達の遺した軌跡をたどることによって、現代の企業が抱える様々な問題を克服する鍵を見つけ出すことができるのではないのでしょうか。

## 今月のBOOKまーく

### ご存じですか？水資料コーナー



参考資料室にある水資料コーナーは県立図書館で特別に収集しているコレクションです。このコーナーは、琵琶湖に関する資料だけでなく河川や水辺の生き物、上下水道やダム、淡水漁業、釣り、温泉などさまざまな水に関する資料を集めています。

水資料は、日本水道協会などの専門団体、また官公庁やNPOなどが発行している資料なども収集の対象にしています。そのため担当者にとっては、出版情報をこまめにチェックすることが大事な仕事になります。

国立国会図書館が提供する『日本全国書誌』には、国会図書館が収集整理した本の情報が網羅されており、かなりの出版物はこれで調査できます。また、さまざまな団体の活動がHPでわかるようになり、以前では気づかなかったような資料が入手できるようになりました。さらに全国の水環境に関係した市民活動とのつながりができ、様々な資料が集まってきます。

また、滋賀県で開かれた世界水フォーラムや世界湖沼会議などでは実際に会場へ出かけて資料を集めました。

もちろん専門的な資料だけでなく、名水のガイドや手づくり石けんの本など実用的な資料もたくさん揃えていますので、ぜひ一度ご覧になってください。

## FLASH ふらっシュ



## 你好！中国・湖南省から研修生来館！！

滋賀県立図書館と中国湖南図書館は1983年以来24年間、資料の交換や職員の研修を通じて交流を深めてきました。今年度は9月7日より、湖南図書館から陳瑛さんと王雋さんの2名の図書館員が、滋賀県立図書館へ来られています。11月4日までの約2ヶ月間、県立図書館をはじめ県内の公共図書館や県立大学などで図書館サービスを中心に体験される予定ですが、お二人は今回の研修を、今後の図書館サービスに生かすだけでなく、滋賀県立図書館と湖南図書館が今まで培ってきた交流が更に深まることを願っておられます。

みなさんも、ご来館いただいた際にお二人を見かけられましたらどうぞ気軽にお声をかけて下さい。

## 湖国の本棚

今号の「湖国の本棚」では、近江商人に関連した資料から、入門的なものや経営理念をテーマとしたものを中心にご紹介します。Web版館報でもこの他に多くの資料をご紹介しますのでご覧ください。

<http://www.shiga-pref-library.jp/>

近江商人ものしり帖

淵上清二著 三方よし研究所 2006

近江商人学入門 CSRの源流「三方よし」

末永國紀著 サンライズ出版 2004

近江商人

末永國紀著 中央公論新社 2000

近江の商人屋敷と旧街道

三方よし研究所 サンライズ出版 2005

三方よし 現代に生きる「世間よし」の理論

A K I N D O委員会 編・発行 2003

売り手よし買い手よし世間よし

渡辺一雄 実業之日本社 1998

近江商人の系譜 活躍の舞台と経営の実像

小倉栄一郎著 社会思想社 1990

近江商人の開発力

小倉栄一郎著 中央経済社 1989

近江商人の経営史

上村雅洋著 清文堂 2000

## 今月のデジタルアルバム帖



## 10月「いにしへの寺 石山寺」

奈良時代の天平19年(747年)の創建と伝えられる石山寺は、紫式部がここで「源氏物語」を著したといわれ、また、近江八景の一つ「石山秋月」に挙げられる名所でもありました。

今回は、この石山寺とその周辺を絵はがきや浮世絵などで紹介します。

## 11月「草津の名所と名産」(仮題)

草津市域の名所と名産を、浮世絵や「滋賀県管下近江国六郡物産図説」を中心にご紹介する予定です。

## 郷土資料紹介

大いなる蕃山  
茂木光春著 文芸社 2007年  
中江藤樹人生百訓  
中江藤樹，中江彰著 致知出版社 2007年  
スミス記念堂復元再建工事報告書  
スミス会議 編・刊 2007年  
琵琶湖をめぐる古墳と古墳群  
用田政春著 サンライズ出版 2007年  
遺跡が語る近江の古代史 暮らしと祭祀  
田中勝弘著 サンライズ出版 2007年  
中世・近世の村と地域社会  
西村幸信著 思文閣出版 2007年  
黒田如水と一族 稀代の軍師 別冊歴史読本  
新人物往来社 2007年  
京都・奈良・滋賀自転車散歩  
多賀一雄 [ほか] 著 山と溪谷社 2007年  
まちづくりと共感、協育としての観光 地域  
に学ぶ文化政策  
井口貢編著 水曜社 2007年  
生態学の「大きな」話  
川那部浩哉著 農山漁村文化協会 2007年  
穴太の石積  
平野隆彰著 あうん社 2007年

## 平成19年7月～8月購入・寄贈分

里山学のすすめ <文化としての自然>再生に  
むけて  
丸山徳次，宮浦富保編 昭和堂 2007年  
近江の常夜燈  
中村良雄著 新風舎 2007年  
One day 或る日 勝本みつる初期作品集  
勝本みつる著 月兎社 2007年  
岩根豊秀の仕事場 孔版画に映し出された湖  
国のモダニズム  
岩根豊秀作 サンライズ出版編・刊 2007年  
井伊直弼の茶の湯  
熊倉功夫編 国書刊行会 2007年  
風の笛  
笹ゆり著 文芸社ビジュアルアート 2007年  
水辺，西村恭子歌集  
西村恭子著 不識書院 2007年  
湖(うみ)の韻(おと)，句集  
永井雪狼著 角川書店 2007年  
うずら姫のひとりごと 働くおかんと家族の  
日常エッセイ  
まついゆみこ著 湖光 2007年

## 湖国の本棚 Web版

「湖国の本棚」では、当館で所蔵している近江商人の資料のうち主な図書をご紹介します。  
記載項目は 書名,副書名,巻数,著者1～3,版次,出版社,出版年,請求記号 となっております。

### (近江商人全般)

[近江商人学入門,CSRの源流「三方よし」](#),末永国紀著,サンライズ出版,

2004,S-6700-04

[近江商人の道](#),木村至宏〔ほか〕著 淡海文化を育てる会編,淡海文化を育てる会,

2004,S-6700-04

[近江商人ものしり帖,ビジネス成功の源泉 「始末してきばる」「もったいない」「世間さま」のころ](#),淵上清二著,三方よし研究所,2006,S-6700-06

[近江商人](#),渡辺守順著,教育社,1980,S-6700-80

[近江商人の系譜,活躍の舞台と経営の実像](#),小倉栄一郎著,社会思想社,1990,S-6700-90

[近江商人,現代を生き抜くビジネスの指針](#),末永国紀著,中央公論新社,2000,S-6700-00

[近江商人に学ぶ](#),サンライズ出版編集部編,サンライズ出版,2003,S-6700-03

[商人道おもしろ史話](#),羽生道英著,毎日新聞社,1992,S-6700-92

[商道の原点,豪商に学ぶ](#),邦光史郎著,経営書院,1993,S-6700-93

[日本の三大商人,大阪・近江・伊勢](#),邦光史郎著,日本経済新聞社,1982,S-6700-82

[近江・伊勢の商人魂](#),内橋克人〔ほか〕著,TBSブリタニカ,1983,S-6700-83

[近江商人事績寫眞帖](#),滋賀県経済協会編纂,復刻版,世界聖典刊行協会,1979,5B-6700-30

[豪商たちの時代,徳川三百年は「あきんど」が創った](#),脇本祐一著,日本経済新聞社,

2006,S-6709-06

[近江商人の商法と理念](#),AKINDO委員会編集,AKINDO委員会,1997,SB-6700-97

[三方よし,「世間よし」の理念は新しいビジネスモデル](#),AKINDO会議編集,

AKINDO委員会,2003,S-6700-03

[近江商人のふるさとを歩く](#),AKINDO委員会編,サンライズ出版,2000,S-6700-00

[近江の商人屋敷と旧街道](#),三方よし研究所編,サンライズ出版,2005,S-6700-05

## ( 評伝・商人研究 )

近江商人,軌跡・系譜と現代の群像,朝日新聞大津支局編,かもがわ出版,1991,S-6700-91

京近江の豪商・事業家列伝,田中敏夫著,,田中敏夫,2004,S-6700-04

近江商人列伝,[正],江南良三著,改訂版,サンライズ印刷株式会社出版部,  
1996,S-6700-1

近江商人列伝,続,江南良三著,近江八幡郷土史会,1990,S-6700-2

経営に大義あり,日本を創った企業家たち,日本経済新聞社編,日本経済新聞社,  
2006,S-6741-06

近江商人,東北の末裔たち,近江商人末裔会,岩手滋賀県人会編,岩手滋賀県人会,  
1991,S-6700-91

盛岡商人伝,岩手滋賀県人会十周年記念,大正 十三造著,岩手滋賀県人会,  
1985,S-6709-85

近江商人幕末・維新見聞録,佐藤誠朗著,三省堂,1990,S-6700-90

幻の三中井百貨店,朝鮮を席卷した近江商人・百貨店王の興亡,林廣茂著,晩声社,  
2004,S-6748-04

江州商人・越後正一,商社界の鬼といわれて,眞島弘編著,現代創造社,1980,S-2851-80

近江商人矢尾喜兵衛家の天保年間『覚』,末永国紀ほか著,同志社大学,2003,S-6745-03

高井作右衛門年代記,近江・日野商人の源流,島武史著,高井株式会社,1992,S-6745-92

伊藤忠兵衛翁回想録,伊藤忠兵衛翁回想録編集事務局編,伊藤忠商事株式会社,  
1974,S-2857-74

住友の大番頭伊庭貞剛,渡辺一雄著,広濟堂出版,2002,S-6741-02

伊庭貞剛物語,別子銅山中興の祖,木本正次著,愛媛新聞社,1999,S-6741-99

幽翁,西川正治郎著,複刻,住友修史室,1981,S-6741-81

## ( 近江商人の経営 )

近江商人の金融活動と滋賀金融小史,淵上清二著,サンライズ出版,2005,S-3300-05

近代日本の企業者と経営組織,安岡重明編著,同文館出版,2005,S-3300-05

地域の金融・財政史,滋賀県と近江銀行,傳田功著,日本経済評論社,1993,S-3300-94

近江商人の経営史,上村雅洋著,清文堂,2000,S-6700-00

近江商人の経営管理,小倉栄一郎著,中央経済社,1991,S-6700-91

近江商人の経営遺産,その再評価,安岡重明[ほか]編,同文館出版,1992,S-6700-92

近江商人の経営,小倉栄一郎著,サンブライツ出版,1988,S-6700-88

近江商人の開発力,管理システムと北海道開発にみる近代経営,小倉栄一郎著,中央経



済社,1989,S-6700-89

**江州中井家帖合の法**,小倉榮一郎著,ミネルヴァ書房,1962,S-6745-62

**商人資本の蓄積過程,近江商人外村与左衛門家の場合**,未永國紀著,同志社大学,  
2001,S-6748-01

**近代近江商人経営史論**,未永國紀著,有斐閣,1997,S-6700-97

**市場と経営の歴史,近世から近代への歩み**,安藤精一,藤田貞一郎編,清文堂,  
1996,S-6700-97

**変革期の商人資本,近江商人丁吟の研究**,丁吟史研究会編,吉川弘文館,1984,S-6753-84

**明治期近江商人の鉱山投資,丁銀と治田鉱山の場合**,未永國紀著,同志社大学,  
1991,S-6753-91

**日本橋街並み商業史**,白石孝著,慶応義塾大学出版会,1999,S-6709-99

**海の総合商社北前船**,加藤貞仁著,無明舎出版,2003,S-6800-03

**近江商人と北前船,北の幸を商品化した近江商人たち**,サンライズ出版編,  
サンライズ出版,2001,S-6700-01

## (近江商人の経営理念・家訓)

**売り手よし買い手よし世間よし,近江商人成功の哲学**,渡辺一雄著,実業之日本社,  
1998,S-6700-98

**豪商,家訓名言集**,邦光史郎著,講談社,1984,S-6700-84

**近江商人の理念,近江商人家訓撰集**,小倉榮一郎著,あきんどフォーラム実行委員会,  
1991,S-6700-91

**近江商人の金言名句**,小倉榮一郎著,中央経済社,1990,S-6700-90

**近代住友の経営理念,企業者史的アプローチ**,瀬岡誠著,有斐閣,1998,S-6700-98

**大福帳,近江商人の家訓と掟**,千賀伸一企画 高木茂子書,小さな文化を作る会,  
1990,5B-6700-90

**近江商人中井家の家訓・店則にみる「立身」と「出世」**,宇佐美英機著,  
滋賀大学経済学部附属史料館,1998,S-6745-98

**近江商人の理念,近江商人家訓撰集**,小倉榮一郎著,サンライズ出版,2003,S-6700-03

**近江商人中村治兵衛宗岸の「書置」と「家訓」について,「三方よし」の原典考証**,  
未永國紀著,同志社大学,1999,S-6748-99

**日野商人山中家の家訓に見る商店経営について**,七里源一著,滋賀県商業教育研究会,  
1990,S-6745-90

## (現代に生きる近江商人・社史)

- たねやのあんこ**, 二世経営者に捧げる一〇〇の小言, 山本徳次著, 毎日新聞社, 2007, S-3341-07
- 商いはたねやに訊け**, 近江商人山本徳次語録, 山本徳次著, 毎日新聞社, 2003, S-5800-03
- 日本橋の近江商人**, 柳屋外池宇兵衛寅松家の四〇〇年, 蝦名賢造著, 新評論, 2001, S-6744-01
- 丸紅前史**, 丸紅株式会社社史編纂室編, 丸紅株式会社, 1977, 5B-3309-77
- 丸紅本史**, 丸紅株式会社社史編纂室編, 丸紅株式会社, 1984, 5B-3309-84
- 創業280周年記念誌Step**, 外与株式会社編集, 外与株式会社, 1980, 5B-5805-80
- 外与300周年記念誌**, 外与株式会社編集, 外与株式会社, 1999, S-5805-99
- 夢の行方**, 塚本幸一とワコールの戦後, 塩澤幸登著, マガジンハウス, 1999, S-5805-99
- 女性を創造する**, ワコール物語, 立石泰則著, 講談社, 1996, S-5805-96
- ワコール物語**, 村上兵衛著, 株式会社ワコール, 1969, S-5805-69
- ワコール50年史**, 全4巻, 株式会社ワコール社長室社史編纂事務局編集, ワコール, 1999, S-5805-1~4
- 回顧五十年**, 藤井商店回顧五十年編纂委員編, 藤井商店, 1956, S-5806-56
- 敷島紡績七十五年史**, 敷島紡績株式会社編, 敷島紡績株式会社, 1968, S-5806-68
- 高島屋百五十年史**, 高島屋150年史編纂委員会編, 株式会社高島屋, 1982, 5B-6706-82
- 西川400年史**, 下村富士男編集 西川400年社史編纂委員会編纂, 西川400年史編纂委員会, 1966, S-6741-66
- 星久225年小史**, 江頭恒治著, 星久, 1975, S-6748-75
- ミュージズ塚本**, 170年のあゆみ, 社史編纂プロジェクト編集, 塚本商事株式会社, 1985, S-6748-85
- 温かう**, 加納商事二百年史, 森露秋執筆編集, 加納商事株式会社, 1992, S-6751-92
- 丁子屋小史**, 波形昭一, 木村健二, 須永徳武監修, ゆまに書房, 2002, S-6753-02
- 伊藤忠商事100年**, 伊藤忠商事株式会社社史編纂室編, 伊藤忠商事株式会社, 1969, 5B-6706-69
- おかげにて**, 高島屋の百五十年, 高島屋150年史編纂委員会編, 株式会社高島屋本社, 1980, 5B-6706-80

## (小説)

- 近江商人,邦光史郎著,日本経済新聞社,1977,S-9500-77
- 新近江商人,邦光史郎著,日本経済新聞社,1984,S-9500-84
- お上にたてつき候,近江商人たちの熱き闘い,丹波元著,PHP研究所,1998,S-9500-98
- 近江商人魂,上巻,童門冬二著,学陽書房,1987,S-9540-1
- 近江商人魂,下巻,童門冬二著,学陽書房,1987,S-9540-2
- 金持商人一代記,小倉栄一郎著,言叢社,1984,S-9545-84
- 藍色のベンチャー,上・下巻,新潮社,2003,S-9551-1~2
- あきんど,絹屋半兵衛,上・下巻 幸田真音著,新潮社,2006,S-9551-1~2
- 筏,新装版,外村繁,サンライズ出版,2005-9548-00
- 花筏,新装版,外村繁,サンライズ出版,2000,S-9548-00
- 草筏,新装版,外村繁,サンライズ出版,2000 S-9548-00
- 小野組物語,異色の近江商人,久保田暁一著,かもがわ出版,1994,S-6716-94